

令和3年度 青森県産業技術センター工業部門研究成果発表会

技術でつなぐ、つながる

令和3年 9月28日 (火) 13:00~15:30

オンライン開催
ZoomとYouTube
によるライブ配信
事前参加登録
定員100名

コロナ禍で生活様式が一変し、消費経済頼りでは立ち行かない状態となっている今、私たちは、これまでの技術支援に一層力を入れ、各公設試や企業とのつながりを深めながら取り組んでまいります。

これまでの研究の成果や支援事例などをご紹介します。多くの皆様のご参加をお待ちしております！

特別講演 (13:05~13:40)

東北を青森を技術でつなぐ

国立研究開発法人産業技術総合研究所
東北センター

講師

所長 **蛸名 武雄 氏**



蛸名 武雄氏のプロフィール

- ・博士(化学工学)
- ・産業技術総合研究所化学プロセス研究部門首席研究員などを歴任。
- ・令和3年 産業技術総合研究所東北センター所長就任

研究成果発表 (13:40~15:30)

各研究部が、これまで取り組んだ研究・支援の成果についてご紹介します。
※詳しくは裏面を御覧ください。

令和3年度 青森県産業技術センター工業部門研究成果発表会

※申込〆切：9月22日(水)

<https://www.aomori-itc.or.jp/docs/2021083100034/>

参加申込書 (メールまたはFAXでお申し込みください)

【申込み・問合せ先】

(地独) 青森県産業技術センター工業総合研究所 企画経営担当 (三橋、田島) 宛

E-mail:kou_souken@aomori-itc.or.jp FAX 017-728-0903 TEL 017-728-0900

※ご記入戴いた内容は、この発表会に関する当センターからの連絡・情報提供にのみ利用させていただきます。

視聴方法	Zoom ・ YouTube	Zoomは質問が可能です。YouTubeは視聴のみです。どちらかを選択してください。後日URLをお送りします。	
会社・団体名			
所在地	〒		
TEL	FAX		
氏名	部署・役職名		
E-mail			

研究成果発表（13：40～15：20）

13：40

県内中小企業等に対するIoT導入・技術支援事業 ～県内産業の労働力不足に「DX」で挑戦！～

工業総合研究所 電子情報技術部 部長 宮下 育也

少子高齢化に伴う労働力不足に対応するため、AIやIoTを駆使して現場の課題を見える化し解決していくデジタル技術開発支援及び人財育成支援について紹介します。

13：55

未利用熱のポテンシャル評価に関する研究開発 ～熱エネルギーの活用によるコスト・CO₂の削減効果について～

工業総合研究所 素材エネルギー技術部 研究管理員 赤平 亮

未利用熱の活用により削減できるエネルギーやCO₂排出量を容易に算出できるソフトウェアを開発したので、実在の施設のデータを用いて試算した結果と共に紹介します。

14：20

酒類製造場の開業支援（ブランデー編） ～カルヴァドスに追いつけ追い越せ～

弘前工業研究所 発酵食品開発部 研究管理員 宮木 博

りんごを原料としたブランデー製造場の新規開業に向け、研修制度による技術者養成、共同研究による製品企画と製造方法について支援を行ったので紹介します。

14：35

県産素材を利用した化粧品原料開発に必要な安全性評価 ～これだけは知っておきたい化粧品原料の安全性について～

弘前工業研究所 機能性素材開発部 研究員 川嶋 草平

青森県産の農林水産物を活用した化粧品原料を開発するにあたり、注意すべき事項や必要となる試験等について分かりやすく紹介します。

14：50

価値の見せ方、伝え方研究 ～科学コミュニケーションに基づく企業の価値情報の発信について～

弘前工業研究所 デザイン推進室 総括研究管理員 館山 大
研究管理員 工藤 洋司

商品やブランドの傍らにある「情報」や「物語」を価値に変換し、ターゲットの買い手に伝える方法について研究中です。皆様の売れる商品・ブランドづくりを支援します。

15：05

機械加工工具の寿命推定に関する基礎研究 ～AIが工具交換時期をお知らせ～

八戸工業研究所 機械システム部 研究員 長谷川 諒

金属加工用の工具には摩耗量とコストに関連した適正な交換時期がある。本研究では切り屑に着目し、AIにより工具交換時期を推定できる可能性を見出したので報告します。

お知らせ

15：20

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた取組

工業総合研究所 企画経営監 横澤 幸仁